

教職ガイダンス（2～4年生）関係資料の掲載について

教職課程を履修している2～4年生は、事前にガイダンス資料に目を通して、履修登録をするようにしてください。詳細については、4月7日（水）に実施する各学年の教職ガイダンスで説明します。

2年生

- 【資料1】 令和3年度前期 教職課程履修に係る留意事項等について（2～4年生対象）
- 【資料5】 教職履修カルテの入力について
- 【資料6】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料10】 教職課程履修要件内規について（2019年度以降に入学した学生用）

3年生

- 【資料1】 令和3年度前期 教職課程履修に係る留意事項等について（2～4年生対象）
- 【資料3】 修得科目確認表（2018年度入学生用）
- 【資料4-1】 修得科目確認表（2019年度以降入学生及び科目等履修生用） 経済
- 【資料4-2】 修得科目確認表（2019年度以降入学生用及び科目等履修生用） スポーツ
- 【資料5】 教職履修カルテの入力について
- 【資料6】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料7】 保健体育科教育法Ⅲ クラス分け表
- 【資料8】 学校体育のマネジメント クラス分け表
- 【資料9】 教職課程履修要件内規について（2018年度以前に入学した学生用）
- 【資料10】 教職課程履修要件内規について（2019年度以降に入学した学生用）
- 【資料11】 2019年度 教職課程履修規程の訂正について
- 【資料12】 令和3年度前期 教職課程ガイダンス（3年生）
- 【資料13】 教育実習の期間（日数）について
- 【資料14】 実習校への訪問のための事前連絡について
- 【資料17】 教職課程公式LINEについて（3,4年生、科目等履修生対象）
- 【資料18】 北九州市教育実習要項
- （様式1） 教職課程履修継続願（記入例も含む）
- （様式2） 教育実習及び介護等体験に関する誓約書
- （様式6-2） セルフ健康チェック表（3年生用）

4年生

- 【資料1】 令和3年度前期 教職課程履修に係る留意事項等について（2～4年生対象）
- 【資料2】 修得科目確認表（2017年度入学生用）
- 【資料3】 修得科目確認表（2018年度入学生用）
- 【資料4-2】 修得科目確認表（2019年度以降入学生用及び科目等履修生用） スポーツ
- 【資料5】 教職履修カルテの入力について
- 【資料6】 履修カルテ 操作説明書
- 【資料15】 令和3年度前期 教職課程ガイダンス（4年生）
- 【資料16】 教育実習期間中の注意事項
- 【資料17】 教職課程公式LINEについて（3,4年生、科目等履修生対象）
- 【資料19】 実習校訪問担当者一覧
- ※（資料19）については、HPへの掲載は、しません。教職ガイダンスにて配布します。
- （様式3） 教育実習に関する誓約書（大学提出用）
- （様式4） 教育実習に関する誓約書（実習校提出用）
- （様式5） 教育実習生調書（記入例も含む）
- （様式6-1） 令和3年度教育実習に係る健康チェック表
- （様式7） 実習用通学定期乗車券発売申請発行願
- （様式8） 令和3年度教育実習面談票
- （福岡県8号&9号様式） 福岡県立（4年生用）
- （福岡県8号&9号様式） 福岡県立（科目等履修生用）

令和 3 年度前期 教職課程履修に係る留意事項等について (2~4 年生対象)

I 履修登録の留意事項及び履修カルテについて (2~4 年生共通)

1 履修状況の確認と履修登録の留意事項について

教員免許取得のためには、学士を有し (=大学を卒業)、教員免許状取得のための所定の単位を満たしておく必要があります。そのためには、まず、前年度までの自分の単位修得状況を把握し、今年度の履修登録を計画的に行う必要があります。

- ①まずは、学生ポータルサイト (UNIPA) から、各自、成績一覧表をダウンロードし、現在までの履修状況を把握してください。
(学生ポータルサイト (UNIPA) の URL <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>)
- ②卒業要件については、学生便覧や履修ガイドで確認してください。
- ③3~4 年生については、教員免許取得に必要な単位に関し、各入学年度生用の「修得科目確認表」【資料 2・3・4-1・4-2】を用いて、今年度の履修登録を計画してください。
※「修得科目確認表」の提出は不要です。
- ④開講期が変更となっている科目もあります。前後期の時間割の両方をよく確認して履修登録を行ってください。

2 履修カルテの入力について

「教職履修カルテの入力について」【資料 5】及び「履修カルテ 操作説明書」【資料 6】を確認し、期間内に入力を完了してください。

II 履修登録の留意事項 (学年別、学部別)

1 スポーツ学部 3 年生以上

「保健体育科教育法Ⅲ」【資料 7】及び「学校体育のマネジメント」【資料 8】はクラス分けがされていますので、確認の上、履修登録を行うようにしてください。

2 両学部 2 年生以上

教職課程履修要件内規について

教育実習を実施するにあたっては、3 年次後期の成績が確定した時点で、教職課程履修要件内規を満たしていることが条件となります。今年度の履修登録を行う際は、教職課程履修要件内規を確かめたうえで、行うようにしてください。

※両学部について、入学年度に関係なく、内規に文言の変更があります。【資料 9・10】

※経済学部の 2018 年度以前に入学した学生については、内規で定める GPA の科目について変更となっているので、特に、注意してください。

3 両学部 3 年生以上

「事前事後指導」について

- ①「事前事後指導」は、実習生として教育現場に立つための“総仕上げ”と実習の“振り返り”を行う科目です。「事前事後指導」の履修登録は、4 年次での前期となりますが、3 年次後期から事前指導を行います。なお、3 年生については、授業時間割におい

て後期の集中に記載されていますが、履修登録はしませんので、授業コードは空欄になっています。

なお、授業日程については、後期ガイダンスでお知らせする予定です。

- ②3年次後期の事前指導を受講しない場合や教職課程履修規程内規の要件を満たせなかった場合は、次年度の「教育実習Ⅰ・Ⅱ」及び「事前事後指導」、「教職実践演習(中・高)」を履修することはできませんので、留意してください。

4 両学部 4 年生

中学校教諭一種免許取得、もしくは中学校教諭一種免許及び高校教諭一種免許の取得を目指す学生は、「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「事前事後指導」を履修登録してください。高校教諭一種免許のみを取得希望の学生は、「教育実習Ⅰ」、「事前事後指導」を履修登録してください。

「教育実習Ⅰ」、「教育実習Ⅱ」、「事前事後指導」は、UNIPAの『学生時間割表』で、いずれも集中講義の欄に記載されます。

Ⅲ その他

①2019年度 学生便覧の教職課程履修規程に関する訂正について

令和2年度前期ガイダンスでも周知しましたが、2019年度学生便覧に掲載の教職課程履修規程については、記載に誤りがありました。「2019年度 教職課程履修規程の訂正について」【資料11】を確認の上、各自、学生便覧の訂正をお願いいたします。

②大学からの電話について

093-693 から始まる電話は大学からの着信です。必ず、折り返すようにしてください。教務課から学生に対し、個別に電話連絡をする場合がありますので、電話番号を変更した場合は、必ずキャリア支援課に届け出てください。

③教職課程公式 LINE について

教職課程を履修する3・4年生は、「教職課程公式LINEについて(3,4年生、科目等履修生対象)」【資料17】に記載するLINEアカウントに登録するようにしてください。

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。
 (ふりがな)
 氏 名

別表ア (第3条関係)

学籍番号 A

(ふりがな)
氏 名

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科) **2018**

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法に 定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
				必修	教 免 修 必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前		後	
中 一 種 免 (社 会)	日本史 及び 外国史	1単位	日本史(教)	2			2								6単位以上	
			西洋史(教)	2			2									
			東洋史(教)	2			2									
			経済史		2			2								
			経営史		2				2							
			日本経営史		2					2						
			日本経済史		2					2						
			経済学史		2					2						
			近代日本経済史		2						2					
			西洋経済史		2						2					
東洋経済史		2							2							
地理学 (地誌を含 む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2					2						6単位以上		
		地誌学(教)	2							2						
		人文地理学概論(教)	2				2									
		都市経済学		2							2					
		地域経済論 交通論		2							2					
「法律学、 政治学」	1単位	法律学概論(国際法を含む。)(教)	2					2						2単位以上		
		民法(総則・物権)		2				2								
		民法(債権)		2					2							
		行政法(作用法・組織法)		2						2						
		行政法(救済法)		2							2					
		労働と法		2							2					
		ビジネス法務		2								2				
「社会学、 経済学」	1単位	マクロ経済学入門	2					2						8単位以上		
		マクロ経済学		2					2							
		ミクロ経済学入門	2						2							
		ミクロ経済学		2						2						
		職業人入門	2		2											
		統計学入門		2					2							
		統計学		2						2						
		医療・福祉マネジメント		2							2					
		経済政策入門		2						2						
		経済政策		2							2					
		財政学入門		2					2							
		財政学		2						2						
		日本経済論入門		2						2						
		日本経済論		2							2					
		社会保障論		2								2				
		経済統計		2								2				
		国際経済学		2								2				
		産業組織論入門		2							2					
		産業組織論		2								2				
		経済学概論	2		2											
公共経済学入門		2							2							
公共経済学		2								2						
環境経済学入門		2								2						
環境経済学		2								2						
「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)		2				2					2単位以上 いずれか1科目 教免必修			
		倫理学概論(教)		2					2							
合計	20単位												28単位以上			

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中 (または今年度履修予定) の単位数合計を記入してください。 → 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A (ふりがな) 氏名

別表 イ (第3条関係)

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法に 定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
				必修	教 必修	選択	1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前		後	
高 一 種 免 (地理歴史)	日本史	1単位	日本史(教)	2		2									2単位以上	
			日本経営史			2				2						
			日本経済史			2				2						
			近代日本経済史			2				2						
	外国史	1単位	西洋史(教)	2		2									4単位以上	
			東洋史(教)	2		2										
			経済史		2			2								
			経営史		2				2							
			経済学史		2				2							
			西洋経済史		2					2						
	人文地理学 及び 自然地理学	1単位	人文地理学概論(教)	2				2							4単位以上	
			自然地理学概論(教)	2				2								
			人口学		2			2								
			地域経済論		2					2						
			交通論		2						2					
	地誌	1単位	都市経済学		2						2				2単位以上	
			地誌学(教)	2							2					
	合計	20単位													36単位以上	

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A (ふりがな) 氏名

別表ウ(第3条関係)

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数			
				必修	数 必修	1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
高 一 種 免 (公 民)	「法律学 (国際法を 含む。)、 政治学 (国際政治 を含む。)」	1単位	法学概論(国際法を含む。)(教)	2				2									2単位以上
			民法(総則・物権)		2			2									
			民法(債権)		2				2								
			行政法(作用法・組織法)		2						2						
			行政法(救済法)		2							2					
			労働と法		2							2					
				ビジネス法務		2							2				
		「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	1単位	マクロ経済学入門	2				2								8単位以上
	マクロ経済学				2			2									
	ミクロ経済学入門			2				2									
	ミクロ経済学				2				2								
	職業人入門			2		2											
	統計学入門				2			2									
	統計学				2				2								
	医療・福祉マネジメント				2							2					
	経済政策入門				2				2								
	経済政策				2						2						
	財政学入門				2				2								
	財政学				2					2							
	日本経済論入門				2				2								
	日本経済論				2					2							
	社会保障論				2								2				
	経済統計				2						2						
	国際経済学			2									2				
	産業組織論入門				2						2						
	産業組織論				2								2				
	経済学概論				2	2											
公共経済学入門		2						2									
公共経済学		2								2							
環境経済学入門		2							2								
環境経済学		2								2							
	「哲学、倫理 学、宗教学、 心理学」	1単位	哲学概論(教)	2				2							2単位以上 いずれか1科目 教免必修		
倫理学概論(教)			2					2									
	合計	20単位													36単位以上		

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A 氏名 (ふりがな)

別表 力 (第4条関係)

教職に関する科目 (経済学部・スポーツ学部) 中一種免・高一種免 (全教科2018)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法に定める最低単位数	本学開設科目	単位数			年次配当時間数							
科目	各科目に含める必要事項			必修	教免必修 中一種 高一種	選択	1年 前後	2年 前後	3年 前後	4年 前後				
第2欄	教職の意義等に関する科目	2単位	教 職 論	2	2		2 経ス							
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	2		2 経ス	2 ス						
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	2	2		2 経ス	2 ス				2 経ス		
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	2	2		2 経ス	2 ス						
			教育課程の意義及び編成の方法 特別活動の指導法	2	2				2 経ス					
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	中一種免 12単位 高一種免 6単位	社会科・地理歴史科教育法	4	4					4 経ス				
			社会科・公民科教育法	4	4							4 経ス		
			商業科教育法		4						4 経ス			
			保健体育科教育法I	2	2			2 ス						
			保健体育科教育法II	2	2				2 ス					
			保健体育科教育法III	2						2 ス				
			保健体育科教育法IV	2							2 ス			
			道徳の指導法	2				2 経ス				2 ス		
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	2	2					2 経ス	2 ス			
			生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	4単位	生徒・進路指導論	2	2			2 経ス	2 ス		
第5欄	教育実習	中一種免 5単位 高一種免 3単位	教育実習I	2	2							集 中 経 ス		
			教育実習II	2								集 中 経 ス		
			事前事後指導	1	1							1 経 ス		
第6欄	教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	2	2						2 経 ス			
合計		中一種免 31単位 高一種免 23単位												

※ 各教科の指導法は該当教科の指導法を履修のこと。
 なお、中一種免の社会の免許を取得希望の者は、「社会科・地理歴史科教育法」及び「社会科・公民科教育法」の2科目を修得しなければならない。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ 単位

修得科目確認表《記入例》

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済み(または今年度履修予定)は○、履修中は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 18A0001

(ふりがな) きょうりつ たろう
氏名 共立 太郎

別表ア(第3条関係)

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) **2018**

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	免許法に定める最低単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低修得単位数		
				必修	教免必修	1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
	日本史		日本史(教)	②		2										
		西洋史(教)	②		2											
		東洋史(教)	2			2										
		経済史						2								
		経営史				②				2						

中略

「哲学、倫理学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)		2		2								2単位以上 いずれか1科目 教免必修
		倫理学概論(教)		2			2							
合計	20単位													28単位以上

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ 28 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ・単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中は△で囲むこと。

学籍番号 18A0001

(ふりがな) きょうりつ たろう
氏名 共立 太郎

別表カ(第4条関係)

教職に関する科目(経済学部・スポーツ学部) 中一種免・高一種免(全教科) **2018**

免許法施行規則に定める科目	各科目に含める必要事項	免許法に定める最低単位数	本学開設科目	単位数			年次配当時間数									
				必修	教免必修	選択	1年		2年		3年		4年			
							中	高	前	後	前	後	前	後	前	後
第2欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)進路選択に資する各種の機会の提供等	2単位	教 職 論	②	②										
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	6単位	教 育 原 論	②	②										
				教 育 史			△						2	経入		
				教 育 心 理 学		△	△			2	2	経	ス			

中一種・高一種の両方の免許取得希望の場合は、それぞれの単位数に○あるいは△をしてください。

中略

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 ア (第3、4条関係)

(ふりがな)	
学籍番号	氏名
A	

経済学部 経済・経営学科

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法に 定める 最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数								本学最低 修得単位数	
						1年		2年		3年		4年			
	科目	各科目に含める必要な事項				必修	選択	前	後	前	後	前	後		前
中 一 種 免 (社 会)	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	1 単位	日本史(教)	2			2						6 単位以上	
				西洋史(教)	2		2								
				東洋史(教)	2		2								
				経済史	2			2							
				経営史	2				2						
				日本経営史	2					2					
				日本経済史	2						2				
				経済学史	2							2			
				近代日本経済史	2								2		
				西洋経済史	2								2		
			東洋経済史	2									2		
			1 単位	自然地理学概論(教)	2						2				6 単位以上
				地誌学(教)	2							2			
				人文地理学概論(教)	2				2						
				都市経済学	2								2		
				地域経済論	2									2	
			1 単位	「法学、政治学」	2					2					2 単位以上
				民法(総則・物権)	2					2					
				民法(債権)	2						2				
				行政法(作用法・組織法)	2							2			
				行政法(救済法)	2								2		
				労働と法	2									2	
			1 単位	「社会学、経済学」	2					2					6 単位以上
				マクロ経済学入門	2						2				
				マクロ経済学	2							2			
				ミクロ経済学入門	2							2			
				ミクロ経済学	2								2		
				統計学入門	2							2			
				統計学	2								2		
				医療・福祉マネジメント	2									2	
				経済政策入門	2								2		
				経済政策	2									2	
				財政学入門	2							2			
				財政学	2								2		
				日本経済論入門	2							2			
				日本経済論	2								2		
				社会保障論	2									2	
				経済統計	2									2	
				国際経済学	2								2		
				産業組織論入門	2									2	
				産業組織論	2									2	
				経済学概論	2		2								
公共経済学入門	2								2						
公共経済学	2									2					
環境経済学入門	2									2					
環境経済学	2									2					
1 単位	「哲学、倫理学、宗教学」	2						2				2 単位以上 いずれか1科目 教免必修			
	哲学概論(教)	2						2							
1 単位	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4							4			8 単位			
	社会科・地理歴史科教育法	4								4					
合計			30単位									36単位以上			

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。

単位

九州共立大学
教職課程履修規程

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 イ（第3、4条関係）

学籍番号	A	(ふりがな) 氏 名
------	---	---------------

経済学部 経済・経営学科

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数								本学最低 修得単位数
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年		
						必修	選択	前	後	前	後	前	後	
高 一 種 免 (地理歴史)	教科及び教科の指導法に関する科目	日本史	1単位	日本史(教)	2		2							2単位以上
				日本経営史	2				2					
				日本経済史	2				2					
				近代日本経済史	2				2					
		外国史	1単位	西洋史(教)	2		2							4単位以上
				東洋史(教)	2		2							
				経済史	2			2						
				経営史	2			2						
				経済学史	2			2						
				西洋経済史	2					2				
		人文地理学 ・ 自然地理学	1単位	人文地理学概論(教)	2			2						4単位以上
				自然地理学概論(教)	2			2						
	人口学			2			2							
	地域経済論			2					2					
	交通論			2						2				
	地誌	1単位	都市経済学	2					2				2単位以上	
			地誌学(教)	2						2				
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		1単位	社会科・地理歴史 科教育法	4					4			4単位	
	合計		30単位										40単位以上	

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。	単位
--------------------------------------	----

九州共立大学
教職課程履修規程

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中(または今年度履修予定)は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表ウ (第3、4条関係)

経済学部 経済・経営学科

学籍番号	A	(ふりがな) 氏 名
------	---	---------------

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教 必修	選 修	1年		2年		3年		4年			
								前	後	前	後	前	後	前		後	
高 一 種 免 (公 民)	教科及び教科の指導法に関する科目 教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	1単位	法学概論(国際法を含む。)(教)	2				2							2単位以上	
				民法(総則・物権)		2			2								
				民法(債権)		2				2							
				行政法(作用法・組織法)		2						2					
				行政法(救済法)		2							2				
			労働と法		2							2					
		「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	1単位	マクロ経済学入門	2					2							8単位以上
				マクロ経済学		2					2						
				ミクロ経済学入門	2					2							
				ミクロ経済学		2					2						
				統計学入門		2				2							
				統計学		2					2						
				医療・福祉マネジメント		2							2				
				経済政策入門		2					2						
				経済政策		2							2				
				財政学入門		2				2							
				財政学		2					2						
				日本経済論入門		2				2							
				日本経済論		2					2						
				社会保障論		2							2				
			経済統計		2						2						
		国際経済学		2							2						
		産業組織論入門		2						2							
		産業組織論		2								2					
		経済学概論		2		2											
		公共経済学入門		2						2							
		公共経済学		2							2						
		環境経済学入門		2							2						
		環境経済学		2								2					
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1単位	哲学概論(教)	2				2						2単位以上 いずれか1科目 教免必修		
		1単位	倫理学概論(教)	2					2								
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	1単位	社会科・公民科 教 育 法	4							4			4単位			
	合計	30単位												40単位以上			

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。

単位

九州共立大学
教職課程履修規程

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中(または今年度履修予定)は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表工 (第3、4条関係)

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

経済学部 経済・経営学科

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数				
	科目	各科目に含める必要な事項			必修	教 必修	免 修	選 択	1年		2年		3年			4年			
									前	後	前	後	前	後		前	後		
高 一 種 免 (商 業)	教科及び教科の 指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	商業の関係 科目	1単位	簿記入門	2		2									10単位以上		
					初級簿記	4			4										
					中級簿記	4			4										
					上級簿記	4			4										
					会社法	2			2										
					商法総則	2			2										
					金融論入門	2			2										
					金融論	2			2					2					
					国際金融論	2			2						2				
					経営戦略論	2			2						2				
					経営管理論	2			2							2			
					財務管理論	2			2							2			
					マーケティング論	2			2							2			
					生産管理論	2			2							2			
					流通管理論	2			2							2			
販売管理論	2			2						2									
管理会計論	2			2							2								
会計監査論	2			2							2								
税務会計論	2			2							2								
人的資源管理論	2			2							2								
	職業指導		1単位	職業指導(教)	4						2	2			4単位以上				
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		1単位	商業科教育法	4						4				4単位				
	合計		30単位												40単位以上				

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。

単位

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号		A	(ふりがな)
氏名		氏名	

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数								本学最低 修得単位数
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
中一 種免 社会/ 高一 種免 地理 歴史・ 公民・ 商業	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想	10 単位	教育原論	2	2							11 単位	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	2								
		教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。)		教育制度論	2	2								
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	2								
		特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解		特別支援教育 概論	1		1							
		教育課程の意義及び編成の方法(カ リキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2			2						
	道徳、総合的な学習の時間等 及び生徒指導、教育相談等に 関する科目	道徳の理論及び指導法	中一 種 10 単位 高一 種 8 単位	道徳教育指導法	中2		中2					中一 種 10 単位 高一 種 8 単位		
		総合的な学習の時間の指導法		教育方法論 (総合的な学習の時 間の指導法を含む。)	2			2						
		特別活動の指導法		特別活動指導法	2			2						
		生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア 教育の理論及び方法		生徒・進路 指導論	2			2						
	教育相談(カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2			2								
	教育実践に 関する 科目	教育 実 習	5 単位	教育実習Ⅰ	2					集中	中一 種 7 単位 高一 種 5 単位			
				教育実習Ⅱ	2				集中					
				事前事後指導	1				1					
		学校体験活動												
	教職実践演習	2 単位	教職実践演習 (中・高)	2					2					
				合計 中一 種27 単位、高一 種23 単位							中一 種 28 単位、高一 種24 単位			
				中一 種免 59 単位、高一 種59 単位							中一 種 64 単位、高一 種64 単位			

※経済学部が独自に定める教職課程履修要件を満たさなければ教職実践に関する科目の履修はできない。
※(教)は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。	単位
--------------------------------------	----

九州
共立
大学
教職課程履修規程

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 力（第7条関係）

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

免許法施行規則第66条の6に関する科目（経済学部・スポーツ学部）

免許 教科	免許法施行規則 第66条6に定める 科目区分	免許法に 定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数				
				必修	教 必修	免 修	選 択	1年		2年		3年			4年			
								前	後	前	後	前	後		前	後		
中 一 種 免 ・ 高 一 種 免 (全 教 科)	日本国憲法	2単位	現代国家と法(日本国憲法)	2				2 or 2										
	体 育	2単位	健康の科学	2					2 or 2									経済学部のみ
			体カトレーニング論	2								2						スポーツ学部のみ
			スポーツA			1	2											経済学部のみ
			スポーツB			1	2											いずれか1科目 教免必修
	外国語 コミュニケーション	2単位	英語コミュニケーションI	1						2								
			英語コミュニケーションII	1								2						
	情報機器 の操作	2単位	情報処理演習I	1					2									
			情報処理演習II	1						2								

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。

単位

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

(ふりがな) きゅうきょう たろう

別表 ア (第3、4条関係)

学籍番号 19A0001

氏名 九共 太郎

経済学部 経済・経営学科

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数				本学最低 修得単位数				
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年			3年		4年	
						必修	教免 必修	選択	前		後	前	後	前
中 一 種 免 (社 会)	日本史・ 外国史	1単位	日本史(教)	2		2						6単位以上		
			西洋史(教)	2		2								
			東洋史(教)	2		2								
			経済史	2		△		2						
			経営史	2				2						
			日本経営史	2					2					
			日本経済史	2					2					
			経済学史	2					2					
			近代日本経済史	2						2				
			西洋経済史	2						2				
	東洋経済史	2						2						
	地理学 (地誌を含む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2				2				6単位以上		
			地誌学(教)	2						2				
			人文地理学概論(教)	2			2							
			都市経済学	2						2				
			地域経済論 交通論	2						2				
	「法学、 政治学」	1単位	法律学概論(国際法を含む。)(教)	2			2					2単位以上		
			民法(総則・物権)	2			2							
			民法(債権)	2				2						
			行政法(作用法・組織法)	2					2					
			行政法(救済法)	2						2				
			労働と法	2						2				
	「社会学、 経済学」	1単位	マクロ経済学入門	2			2					6単位以上		
			マクロ経済学	2			2							
			ミクロ経済学入門	2			2							
			ミクロ経済学	2			2							
			統計学入門	2			2							
			統計学	2			2							
			医療・福祉マネジメント	2					2					
			経済政策入門	2			2							
			経済政策	2					2					
			財政学入門	2			2							
			財政学	2			2							
			日本経済論入門	2			2							
			日本経済論	2			2							
			社会保障論	2					2					
			経済統計	2			2							
			国際経済学	2					2					
			産業組織論入門	2			2							
			産業組織論	2					2					
			経済学概論	2		2								
	公共経済学入門	2			2									
公共経済学	2					2								
環境経済学入門	2			2										
環境経済学	2					2								
「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)	2			2					2単位以上 いずれか1科目 教免必修			
		倫理学概論(教)	2			2								
各教科の指導法(情報機器 及び教材の活用を含む。)	1単位	社会科・地理歴史科教育法	4					4			8単位			
		社会科・公民科教育法	4						4					
合計		30単位									36単位以上			

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。

30 単位

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 オ (第3、4条関係)

学籍番号	A	(ふりがな)	
		氏名	

スポーツ学部 スポーツ学科

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数				本学最低 修得単位数				
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年			3年		4年	
						必修	選択	前	後		前	後	前	後
中 一 種 免 ・ 高 一 種 免 (保 健 体 育)	体育実技	1単位	体操(体づくり運動を含む。)	1	2or2							10単位以上 剣道と柔道 はいずれか 1科目教免 必修		
			器械運動	1			2or2							
			陸上競技A	1	2or2									
			陸上競技B	1			2or2							
			水泳	1			2or2							
			バスケットボール	1	2or2									
			バレーボール	1			2or2							
			サッカー	1	2or2									
			ハンドボール	1					2					
			ラグビー	1					2					
			ソフトボール・野球	1					2or2					
			テニス	1					2or2					
			バドミントン	1				2or2						
			ダンス	1				2or2						
			剣道	1				2or2						
	柔道	1				2or2								
	キャンプ	1							集中					
	スノースポーツ	1							集中					
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	1単位	スポーツ運動学(運動方法学を含む。)	2	2							10単位以上		
			スポーツ心理学	2	2									
			学校体育のマネジメント	2				2						
			スポーツ社会学	2		2								
			スポーツ学概論	2	2									
			スポーツの歴史と文化	2							2			
	生理学(運動生理学を含む。)	1単位	解剖生理学	2	2							4単位以上		
			スポーツ生理学	2		2								
			スポーツ栄養学	2			2							
			スポーツバイオメカニクス	2	2									
衛生学・公衆衛生学	1単位	衛生学及び公衆衛生学	2	2						2単位				
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	1単位	救急法実習	1			2or2					5単位以上			
		学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)	2				2							
		学校保健Ⅱ(小児保健・精神保健を含む。)	2					2						
		スポーツ医学	2	2			2							
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	1単位	保健体育科教育法Ⅰ	2			2					I～IV 8単位			
		保健体育科教育法Ⅱ	2				2							
		保健体育科教育法Ⅲ	2					2						
		保健体育科教育法Ⅳ	2						2					
合計	30単位									44単位以上				

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。

単位

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号	A	(ふりがな) 氏 名
------	---	---------------

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法に 定める 最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数								本学最低 修得単位数
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年		
						必修	選択	前	後	前	後	前	後	
中一 種 免 ・ 高 一 種 免 (保 健 体 育)	教育の基礎的 理解に関する科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想	10 単位	教育原論	2		2							11 単位
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	2								
		教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。)		教育制度論	2			2						
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程		教育心理学	2			2						
		特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1			1						
		教育課程の意義及び編成の方法(カ リキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2				2					
	道徳、総合的な学習の時間等 の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一 種 10 単位 高 一 種 8 単位	道徳教育指導法	中2					中2				中一 種 10 単位 高 一 種 8 単位
		総合的な学習の時間の指導法		教育方法論 (総合的な学習の時間 の指導法を含む。)	2					2				
		教育の方法及び技術(情報機 器及び教材の活用を含む。)		特別活動指導法	2					2				
		特別活動の指導法		生徒・進路 指導論	2					2				
		生徒指導の理論及び方法		教育相談	2					2				
		進路指導及びキャリア教 育の理論及び方法		教育相談(カウンセリングに 関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	2					2				
	教育実践に関する科目	教育実習	中一 種 5 単位 高 一 種 3 単位	教育実習Ⅰ	2						集中		中一 種 7 単位 高 一 種 5 単位	
				教育実習Ⅱ	中2						集中			
		学校体験活動	事前事後指導	1							1			
		教職実践演習	2 単位	教職実践演習 (中・高)	2							2		
	合計			中一 種 免 27 単位、高 一 種 免 23 単位									中一 種 28 単位 高 一 種 24 単位	
				中一 種 免、高 一 種 免 59 単位									中一 種 72 単位 高 一 種 68 単位	

※スポーツ学部が独自に定める教職課程履修要件を満たさなければ教職実践に関する科目の履修はできない。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。	単位
--------------------------------------	----

九州共立大学
教職課程履修規程

修得科目確認表 2019年度以降入学生及び科目等履修生用

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表 力（第7条関係）

学籍番号	A	(ふりがな) 氏名
------	---	--------------

免許法施行規則第66条の6に関する科目（経済学部・スポーツ学部）

免許 教科	免許法施行規則 第66条6に定める 科目区分	免許法に 定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数					
				必修	教 必修	免 修	選 択	1年		2年		3年			4年				
								前	後	前	後	前	後		前	後			
中 一 種 免 ・ 高 一 種 免 (全 教 科)	日本国憲法	2単位	現代国家と法(日本国憲法)	2				2 or 2											
	体 育	2単位	健康の科学	2					2 or 2									経済学部のみ	
			体カトレーニング論	2								2						スポーツ学部のみ	
			スポーツA			1	2												経済学部のみ いずれか1科目 教免必修
			スポーツB			1	2												
	外国語 コミュニケーション	2単位	英語コミュニケーションI	1							2								
			英語コミュニケーションII	1									2						
	情報機器 の操作	2単位	情報処理演習I	1					2										
			情報処理演習II	1						2									

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。

単位

単位数の欄の数字を修得済みは、履修中（または今年度履修予定）は で囲むこと。
一番下の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

(ふりがな) きゅうきょう たろう

別表 ア (第3、4条関係)

学籍番号 19A0001

氏名 九共 太郎

経済学部 経済・経営学科

免許 教科	施行規則等に定める 科目区分等		免許法 に定め る最低 単位数	授業科目	単位数	年次配当時間数								本学最低 修得単位数
	科目	各科目に含める必要な事項				1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
中 一 種 免 (社 会)	日本史・ 外国史	1単位	日本史(教)	2		2							6単位以上	
			西洋史(教)	2		2								
			東洋史(教)	2		2								
			経済史	2			2							
			経営史	2				2						
			日本経営史	2					2					
			日本経済史	2						2				
			経済学史	2							2			
			近代日本経済史	2								2		
			西洋経済史	2										2
	東洋経済史	2									2			
	地理学 (地誌を含む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2				2					6単位以上	
			地誌学(教)	2							2			
			人文地理学概論(教)	2			2							
			都市経済学	2							2			
			地域経済論	2								2		
			交通論	2								2		
	「法学、 政治学」	1単位	法律学概論(国際法を含む。)(教)	2			2						2単位以上	
			民法(総則・物権)	2			2							
			民法(債権)	2				2						
			行政法(作用法・組織法)	2						2				
			行政法(救済法)	2							2			
			労働と法	2								2		
	「社会学、 経済学」	1単位	マクロ経済学入門	2			2						6単位以上	
			マクロ経済学	2				2						
			ミクロ経済学入門	2				2						
			ミクロ経済学	2					2					
			統計学入門	2				2						
			統計学	2					2					
			医療・福祉マネジメント	2							2			
			経済政策入門	2					2					
			経済政策	2							2			
			財政学入門	2				2						
			財政学	2					2					
			日本経済論入門	2				2						
			日本経済論	2					2					
			社会保障論	2							2			
			経済統計	2						2				
			国際経済学	2							2			
			産業組織論入門	2						2				
			産業組織論	2								2		
			経済学概論	2		2								
公共経済学入門			2						2					
公共経済学	2							2						
環境経済学入門	2							2						
環境経済学	2								2					
「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)	2			2					2単位以上 いずれか1科目 教免必修			
		倫理学概論(教)	2				2							
各教科の指導法(情報機器 及び教材の活用を含む。)	1単位	社会科・地理歴史科教育法	4					4			8単位			
		社会科・公民科教育法	4						4					
合計		30単位									36単位以上			

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。

30 単位

教職履修カルテの入力について《重要》

履修カルテは、教員免許状の取得に必要な科目の修得状況のほか、教職履修上の課題や課題達成状況などを、みなさんに記入していただくためのものです。そのため、教職課程を履修する全学生が必ず行う必要があります。また、令和2年度後期より UNIPA での登録となります。別紙の「履修カルテ 操作説明書」に従って、下記の期間中に入力を完了させてください。入力していないと4年生後期開講の「教職実践演習（中・高）」が受講できなくなります。また、教職課程履修願を未提出の場合は入力できません。

特に4年生は、後期の「教職実践演習（中・高）」受講要件となりますので、新規に入力事項がない場合でも、改めて内容の確認をして、必ず確定ボタンをおしてください。

なお、入力方法等、不明な点は教務課へお尋ねください。

記

【入力について】

- ①入力要領については、別紙『履修カルテ 操作説明書』で確認して入力してください。
②教職履修カルテの入力項目は以下の5つです。自己を振り返って、入力を行ってください。

1	目標設定	現在の学年欄について、今年度の目標を入力してください。
2	資格関連科目 修得状況	前年度後期を振り返って、入力してください。
3	学外活動に関する科目	前年度後期を振り返って、入力してください。特に書くことがない場合は、記入の必要はありません。
4	必要な資質能力についての自己評価	前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（現2年生は、1年生の欄に入力。現3年生は、2年生の欄に入力。現4年生は、3年生の欄に入力。）
5	教職を目指す上での課題・対策	現在の学年欄について、今年度の課題・対策を入力してください。

- ③入力後は、必ず確定ボタンを押してください。また、一旦ログアウトして、再度ログインして、正しく登録されているか確認してください。

【入力期間・学内利用可能場所について】

入力期間：4月8日（木）9：00～17：00

4月9日（金）9：00～17：00

学内利用可能場所：S333

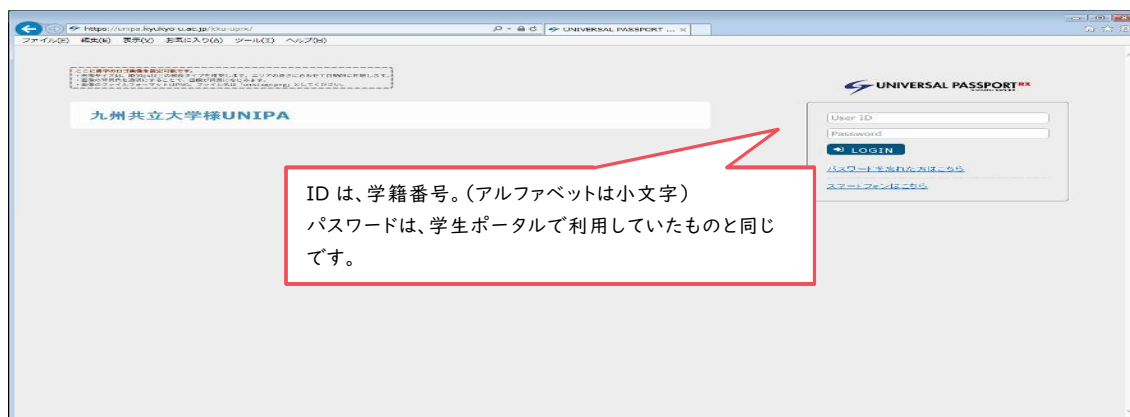
（ネット環境のあるパソコンからであれば自宅等からも入力可能です。）

以上

履修カルテ 操作説明書

1. UNIVERSAL PASSPORT にアクセスし、ID およびパスワードを入力。

URL <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>



2. 上部のメインメニューの[履修カルテ]より、[履修カルテ登録]を選択します。その後、学籍番号を入力し、検索ボタンを押してください。



3.【履修カルテ登録】画面が表示されます。

①『基本情報』タブを押下し、『目標設定』エリアを設定します。

提出受付中

[提出受付中]になっているときに
学生は履修カルテの更新が可能です。

PDF/Excel 形式で履修カルテの
ダウンロードが可能です。

2019 年度以前に入学した学生については、以前のシ
ステムのデータが、全て 1 年次の枠に登録されている
ため、必要に応じて修正してください。
また、改行等の体裁も現システムの枠に合わせて必要
に応じて修正してください。

一定時間画面操作がない場合、ログアウトされ、
保存を押していない入力内容は破棄されますので
定期的な一時保存をしてください。

対象学年	学修や卒業後の目標
1年次	
2年次	
3年次	
4年次	
教育実習終了時	

②『資格関連科目 修得状況』エリアでは、プルダウンから資格を選択すると、下部に資格関連科目
で修得した科目の一覧が表示されます。

資格関連科目 修得状況

資格 教職希望(スポーツ)

科目	単位数	修得年度学期	担当教員	素点	学修の振り返り
バドミントン	1.0	2018年度前期	田島 さと		A
					B
					A(楽しかった)
					A(楽しめないのが怖い)

・学修の振り返りを入力してください。

・2019 年度以前に入学した学生は、今まで自己評価を A～E でおこなった上で、
コメントを書きましたが、今後は、コメントのみの入力です。

・入力可能文字数は半角 200 文字までです。(全角は 2 文字でカウントします。)

・2019 年度以前に入学した学生は、以前のシステムに制限文字数以上の入力
があったものについては、200 文字以降が切り捨てられているため、修正してくだ
さい。

③『学外活動に関する記録』エリアを設定します。行追加をクリックすると入力エリアが表示されます。

④『自己評価』タブを押下し、『必要な資格能力についての自己評価』エリアを設定します。

資格プルダウンから資格を選択し、各指標の自己評価を入力します。

⑤『教職を目指す上での課題・対策』エリアを設定します。

⑥履修カルテの入力が完了したら【確定】をクリックしてください。

【資料7】

「保健体育科教育法Ⅲ」クラス分け表

時限欄が「1」の学生は、前期火曜日1限目、時限欄が「2」の学生は、前期火曜日2限目で登録してください。

NO	学籍番号	時限
1	18A3234	1
2	19A3004	1
3	19A3005	2
4	19A3007	1
5	19A3011	2
6	19A3014	1
7	19A3016	2
8	19A3017	2
9	19A3019	1
10	19A3020	1
11	19A3026	2
12	19A3027	1
13	19A3030	2
14	19A3033	1
15	19A3037	2
16	19A3038	2
17	19A3039	1
18	19A3040	1
19	19A3041	2
20	19A3043	2
21	19A3044	1
22	19A3045	2
23	19A3046	1
24	19A3048	1
25	19A3055	2
26	19A3057	2
27	19A3058	1
28	19A3059	1
29	19A3064	2
30	19A3065	2
31	19A3066	1
32	19A3067	1
33	19A3068	2
34	19A3069	2
35	19A3070	1
36	19A3071	2
37	19A3072	1
38	19A3073	1
39	19A3074	2
40	19A3076	2
41	19A3079	1
42	19A3080	2
43	19A3084	1
44	19A3085	2
45	19A3089	1
46	19A3091	2
47	19A3094	1
48	19A3096	1
49	19A3098	2
50	19A3099	2

NO	学籍番号	時限
51	19A3100	1
52	19A3101	2
53	19A3104	1
54	19A3107	2
55	19A3108	1
56	19A3113	2
57	19A3114	1
58	19A3118	2
59	19A3123	1
60	19A3125	2
61	19A3126	1
62	19A3130	1
63	19A3132	2
64	19A3133	2
65	19A3137	1
66	19A3138	1
67	19A3142	2
68	19A3146	1
69	19A3147	2
70	19A3148	1
71	19A3150	2
72	19A3153	1
73	19A3158	2
74	19A3161	1
75	19A3163	2
76	19A3170	1
77	19A3173	2
78	19A3174	1
79	19A3176	2
80	19A3177	2
81	19A3178	1
82	19A3180	1
83	19A3183	2
84	19A3185	2
85	19A3189	1
86	19A3190	1
87	19A3192	2
88	19A3195	1
89	19A3197	2
90	19A3200	1
91	19A3201	2
92	19A3205	2
93	19A3206	1
94	19A3207	1
95	19A3209	2
96	19A3211	1
97	19A3212	2
98	19A3213	2
99	19A3215	1
100	19A3218	2

NO	学籍番号	時限
101	19A3223	1
102	19A3229	2
103	19A3230	1
104	19A3231	1
105	19A3232	2
106	19A3234	2
107	19A3237	1
108	19A3238	2
109	19A3240	1
110	19A3241	2
111	19A3245	1
112	19A3249	2
113	19A3252	1
114	19A3257	2
115	19A3259	1
116	19A3262	2
117	19A3264	1
118	19A3267	2
119	19A3269	1
120	19A3271	2
121	19A3272	1
122	19A3275	1
123	19A3276	2
124	19A3278	2
125	19A3281	1
126	19A3285	2

【資料8】

「学校体育のマネジメント」クラス分け表

時限欄が「1」の学生は、前期木曜日1限目、時限欄が「2」の学生は、前期木曜日2限目で登録してください。

NO	学籍番号	時限
1	18A3234	2
2	19A3004	2
3	19A3005	1
4	19A3007	2
5	19A3011	1
6	19A3014	2
7	19A3016	1
8	19A3017	1
9	19A3019	2
10	19A3020	2
11	19A3026	1
12	19A3027	2
13	19A3030	1
14	19A3033	2
15	19A3037	1
16	19A3038	1
17	19A3039	2
18	19A3040	2
19	19A3041	1
20	19A3043	1
21	19A3044	2
22	19A3045	1
23	19A3046	2
24	19A3048	2
25	19A3055	1
26	19A3057	1
27	19A3058	2
28	19A3059	2
29	19A3064	1
30	19A3065	1
31	19A3066	2
32	19A3067	2
33	19A3068	1
34	19A3069	1
35	19A3070	2
36	19A3071	1
37	19A3072	2
38	19A3073	2
39	19A3074	1
40	19A3076	1
41	19A3079	2
42	19A3080	1
43	19A3084	2
44	19A3085	1
45	19A3089	2
46	19A3091	1
47	19A3094	2
48	19A3096	2
49	19A3098	1
50	19A3099	1

NO	学籍番号	時限
51	19A3100	2
52	19A3101	1
53	19A3104	2
54	19A3107	1
55	19A3108	2
56	19A3113	1
57	19A3114	2
58	19A3118	1
59	19A3123	2
60	19A3125	1
61	19A3126	2
62	19A3130	2
63	19A3132	1
64	19A3133	1
65	19A3137	2
66	19A3138	2
67	19A3142	1
68	19A3146	2
69	19A3147	1
70	19A3148	2
71	19A3150	1
72	19A3153	2
73	19A3158	1
74	19A3161	2
75	19A3163	1
76	19A3170	2
77	19A3173	1
78	19A3174	2
79	19A3176	1
80	19A3177	1
81	19A3178	2
82	19A3180	2
83	19A3183	1
84	19A3185	1
85	19A3189	2
86	19A3190	2
87	19A3192	1
88	19A3195	2
89	19A3197	1
90	19A3200	2
91	19A3201	1
92	19A3205	1
93	19A3206	2
94	19A3207	2
95	19A3209	1
96	19A3211	2
97	19A3212	1
98	19A3213	1
99	19A3215	2
100	19A3218	1

NO	学籍番号	時限
101	19A3223	2
102	19A3229	1
103	19A3230	2
104	19A3231	2
105	19A3232	1
106	19A3234	1
107	19A3237	2
108	19A3238	1
109	19A3240	2
110	19A3241	1
111	19A3245	2
112	19A3249	1
113	19A3252	2
114	19A3257	1
115	19A3259	2
116	19A3262	1
117	19A3264	2
118	19A3267	1
119	19A3269	2
120	19A3271	1
121	19A3272	2
122	19A3275	2
123	19A3276	1
124	19A3278	1
125	19A3281	2
126	19A3285	1

教職課程履修要件内規について（2018 年度以前に入学した学生用）

1. 教職課程履修要件内規について

3 年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認して下さい。また、誓約書に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

なお、2018 年度以前入学生に配布した履修ガイドに記載した内規の変更がありますので、既に前年度中に周知した変更も含め、改めてお知らせいたします。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《経済学部》

新	旧
<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習 I・II」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する科目〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教職に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表キ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目を含む 3 年次終了までの GPA(成績評価値)2.0 以上であること。</u></p> <p><u>(2) 4 年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を 3 年後期に受けていること。</u></p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習 I・II」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する科目〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教職に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表キ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目の 3 年次終了までの GPA(成績評価値)2.0 以上であること。</u></p> <p><u>(2) 3 年次後期に開講している「事前事後指導（教育方法論）」を受講していること。</u></p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

※GPA については、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《スポーツ学部》

新	旧
<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。 ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する科目)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。 ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する科目)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>3年次後期に開講している「事前事後指導（保健体育科教育法Ⅳ）」を受講していること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

教職課程履修要件内規について（2019 年度以後に入学した学生用）

1. 教職課程履修要件内規について

3 年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認して下さい。また、誓約書に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

なお、2019 年度以降入学生に配布した履修ガイドに記載した内規の変更がありますので、既に前年度中に周知した変更も含め、改めてお知らせいたします。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《経済学部》

新	旧
<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）〉〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目を含む 3 年次終了までの GPA（成績評価値）が 2.0 以上であること。</u></p> <p>(2) <u>4 年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を 3 年後期に受けていること。</u></p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 3 年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第 7 条関係）に定める全科目（免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、<u>上記教職関連全科目の 3 年次終了までの GPA（成績評価値）が 2.0 以上であること。</u></p> <p>(2) 3 年後期に開講している「事前事後指導（教育方法論）」を受講していること。</p> <p>(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

※GPA については、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。

教職課程履修要件内規一部改正新旧対照表

《スポーツ学部》

新	旧
<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する専門的事項)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>	<p>スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。</p> <p>(1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する専門的事項)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。</p> <p>(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道德教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（総合的な学習の時間の指導法を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。 なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。</p> <p>(3) <u>3年後期に開講している「事前事後指導（保健体育科教育法Ⅳ）」を受講していること。</u></p> <p>(4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。</p>

2019 年度便覧 教職課程履修規程の訂正について

2019 年度学生便覧に掲載の教職課程履修規程について、以下の通り間違いがありましたのでお詫びいたします。各自、学生便覧の訂正をお願いいたします。

ページ	内容	誤	正
59	第 5 条 文言の一部削除	略 ただし、教科及び教職に関する科目のうち、 教職論、教育原論、 <u>教育史</u> 、教育心理学、特 別支援教育概論、教育制度論及びスポーツ学 部については、 略	略 ただし、教科及び教職に関する科目のうち、 教職論、教育原論、教育心理学、特別支援教 育概論、教育制度論及びスポーツ学部につい ては、 略
68	別表ウ 授業科目 「社会科・公民科教育 法」の年次配当時間数	3 年 <u>前期</u> 4	3 年 <u>後期</u> 4
64～71	別表ア～エ 表の欄外記載漏れ	記載漏れ	※ 経済学部が独自に定める教職課程履修要件 を満たさなければ教職実践に関する科目の 履修はできない。 ※ (教)は卒業要件に含まれない自由科目。
73	別表オ 表の欄外記載漏れ	記載漏れ	※ スポーツ学部が独自に定める教職課程履修 要件を満たさなければ教職実践に関する科 目の履修はできない。
63	2 経過措置 (2)	学士入学者、編入学者で <u>同年度前</u> の	学士入学者、編入学者で <u>平成 30 年度前</u> の

令和3年度前期 教職課程ガイダンス（3年生）

1. 教職課程履修者の心構え及び注意事項

3年生になると教育実習の内諾依頼及び介護等体験で自ら行動してその責任を負っていくこととなります。つまり教員になる強い意志が求められることになるのです。

3年生では以下のような予定があります。日程等が決定しましたら、HPや学生ポータルサイト（UNIPA）等でお知らせします。昨今、「新型コロナウイルス感染症」による影響で、不測の事態が発生する可能性が高く、突然の予定変更などがあります。その際は、HPや学生ポータルサイト（UNIPA）等で通知することになるため、どちらも新着情報の確認を1日1回は行うようにお願いします。

2. 3年生でのスケジュール

	日程等	事項
1	4月8日（木） 17：00 締切	「教職課程履修継続願」（様式1）提出締切 「教育実習及び介護等体験に関する誓約書」（様式2）提出締切
2	4月教職ガイダンス後～4月15日（木） （実習希望校の入学式以降）	実習希望校へ電話をして受入可否等の打診 ①教育実習ご担当の先生に目的をはっきりと伝え、内諾を取るための手続きについて電話で確認をしてください。 ②内諾のための訪問日と時間を決めてください。（※訪問時に提出する書類については、5月上旬に実施する「教育実習内諾説明会」で配付予定です。そのため、内諾の訪問日は、5月中旬以降で調整を図ってください。実習校から、5月上旬までの日程で来校するよう指示があった場合は、教務課に相談してください。） ③学校によっては、申請月が決まっていることもあるので、電話で確認してください。 ※北九州市立学校で教育実習を希望する学生は、5月～1月末までの間に内諾をお願いすることになっているので、この時点では、実習希望校へ連絡はしないようにしてください。別途、「北九州市教育実習要項」【資料18】を参照して、内諾の依頼を行ってください。（北九州市立で教育実習を希望する学生は、教職ガイダンス後、説明をするので、残ってください。）
3	4月8日（木）～4月15日（木）	教育実習希望校へ受入可否等の打診後に、UNIPA＞共通＞アンケート回答で、「教育実習希望校調査」に必要事項を入力し回答
4	5月上旬	教育実習内諾説明会（日程は、決まり次第掲示します。）
5	5月～6月末	教育実習内諾の依頼 内諾説明会后、できるだけ速やかに教育実習校を訪問し、内諾を得る。遅くなると受け入れてもらえないことがあります。
6	5月下旬～7月下旬	介護等体験（社会福祉施設）説明会（日程は、決まり次第周知します。） 介護等体験（特別支援学校）説明会（日程は、決まり次第周知します。）
7	6月上旬	教職課程費の納入の送付 納付書を保護者様宛に送りますので、届きましたら期限までに納入してください。
8	8月～翌年2月頃	介護等体験（社会福祉施設）の実施 対象：中学校免許取得希望者で、令和3年1月に「介護等体験申込書（社会福祉施設用）」を提出した学生のみ
9	9月～翌年2月頃	介護等体験（特別支援学校）の実施 対象：中学校免許取得希望者で、令和3年1月に「教育職員免許状取得希望者事前調査及び介護等体験（特別支援学校）申込書」を提出した学生のみ

3. 介護等体験と履修登録に関する留意事項

令和3年1月に「教育職員免許状取得希望者事前調査及び介護等体験申込書」を提出していない学生は、履修登録期間中に教職科目を登録できないよう履修登録に制限がされていますが、「教職課程履修継続願」を提出することにより、履修修正期間に教職科目を履修登録できるようになります。該当学生は、「教職課程履修継続願」を提出する時に、教務課員に教職課程科目について履修登録に制限がかかっている旨を伝えてください。

4. 健康チェックについて

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教育実習内諾のための教育実習校訪問、並びに、介護等体験の2週間前から、「健康チェック表(3年生用)」(様式6-2)で、健康観察を記録するようにしてください。実習校や介護等体験先からの提出要求の有無に関わらず、必ず記録すること。

5. 教職課程履修継続等に関する留意事項

教育実習期間中においては、教育実習に係る実習校での活動が優先されます。よって、期間中における個人の就職活動、部活動、試合出場は認めておりませんので、留意してください。

教職課程履修継続をするにあたっては、そのことを了承した上で、「教職課程履修継続願」(様式1)を提出してください。

教育実習の期間（日数）について

本学は、中学校または高等学校教諭の免許取得を希望する学生は、教育実習の期間（時間）を以下のとおり定め、文部科学省に申請しています。

中学校のみ、中学校および高等学校の教員免許を取得する場合	：4週間（120時間）以上の実習
高等学校のみの教員免許を取得する場合	：2週間（60時間）以上の実習

この時間数は実習科目の単位認定に必要な時間数です。

この期間は、教員を目指す学生が現場を理解し、教員に必要な様々な力を身につけ、教員としての自覚を確固たるものにするためにも必要な期間です。

しかしながら、中学校教諭免許取得希望者の教育実習を受け入れていただくにあたり実習校の事情により4週間の受入れが難しい場合があります。その場合は、3週間（15日間＝120時間）以上の確保ができれば差し支えありません。ただし、個人の都合で3週間の教育実習期間を申し出ることには認められません。

なお、教育実習期間中に祝日や休校日が入る場合は、実習日数について、15日間以上を確保しているか留意してください。また、台風等で休校になった場合は、15日間を確保していただくよう延長等の依頼をするとともに、大学へ連絡してください。

3週間（15日間）以上の教育実習期間を確保できない場合、教育実習の単位に影響することになりますので、教育実習期間中の体調管理にも十分気をつけてください。

また、教育実習期間中の就職活動、部活動、試合出場は個人の都合とみなしますので、これらのことに関する実習校から大学への問い合わせや教育実習期間（時間）不足に対し、大学としての対応はいたしません。

教育実習期間（時間）が不足する場合は、単位が認定されないことを予め理解しておいてください。

実習校への訪問のための事前連絡について

1. 電話をかける前の注意事項について

- ① 電話をかける時間帯
16時ごろが望ましい。(始業直後、終業間近、夜間等は避けてください。)
- ② 話す要件を事前にメモしておく
基本的に実習受入担当者は各校の教頭先生か実習担当の先生
- ③ メモと筆記用具の準備
うかがった内容を忘れないように用意しておく
- ④ 静かな場所で電話すること
通話が聞き取りにくいと、印象が悪い
- ⑤ 語尾ははっきりと
「～ですけどお・・・」と間延びした、語尾が消えるような話し方では、相手に良い印象を与えません。語尾ははっきりさせましょう。また、「え～と」「あの～」といった言葉はあまり使わないようにしましょう。
- ⑥ 先方の担当者が不在の場合
御担当の先生が不在の場合は、時間を置いてもう一度かけましょう。

2. 電話のかけ方・受け方の一例

教員を目指しているので教育実習をさせていただききたいことを伝える。

かけ手 (学生)	受け手 (先方の学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・ もしもし、〇〇学校でしょうか？ ・ 私 (わたくし) 〇年度卒業生で九州共立大学〇〇学部の〇〇と申します。教育実習の件でお電話させていただいておりますが、教育実習ご担当の先生をお願いいたします。 ・ お忙しいところを恐れ入ります。私〇年度卒業生で九州共立大学〇〇大学〇〇学部の〇〇と申します。教職課程を履修しており、令和4年度に教育実習をさせていただきと思っています。内諾依頼のことで、貴校にお伺いしたいのですが、よろしいでしょうか。 ・ はい、承知いたしました。〇月〇日△時ですね。それでは当日伺いますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。失礼します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、〇〇学校でございます。 ・ はい、少々お待ち下さい。 ・ はい、担当 (教頭) の〇〇です。 ・ はい、そのことでしたら、〇月〇日△時本校に来てください。

※正しい姿勢と笑顔で対応しましょう。顔が見えなくても電話中の態度はそのままトーンとなって相手に伝わるものです。

※ はっきり、ゆっくり、丁寧な口調で話しましょう。

※ 「教育実習の手引き」も参照してください。

教職課程公式 LINE について（3,4 年生、科目等履修生対象）

3,4 年生の教職履修者で下記の LINE アカウントに未登録の学生は、下記より登録ください。

九州共立大学 教職課程（18A）
 ※令和 3 年度に教育実習を行う予定の
 科目等履修生も登録してください

九州共立大学 教職課程（19A）
 ※令和 4 年度に教育実習を行う予定の
 4 年生及び科目等履修生も登録してください

@418kdtya



<https://lin.ee/4zGihWweZ>

@285fjylg



<https://lin.ee/iwWKjLL>

教職課程公式 LINE の運用方針

本アカウントは、本学教職履修者全体への情報発信を主な目的に開設されています。チャット機能を用いた教職履修に関する個人的な相談などへの対応はいたしません。そうした相談は、事項に応じて教務課（093-693-3223）または本学ウェブサイトに掲載されている各教員の連絡先（下記掲載）に個別で連絡をしてください。

教職担当教員への連絡先

教員名・所属	研究室	電話番号	メールアドレス	オフィスアワー
重枝 武司 スポーツ学部	S413	093-693- 3314	shigeeda@kyukyo-u.ac.jp	水曜日 11:30 ~13:00
前田 武男 経済学部	S317	093-693- 3315	t-maeda@kyukyo-u.ac.jp	火曜日 11:30 ~13:00
毛利 浩 スポーツ学部				
清永 裕子 スポーツ学部	S437	093-693- 3062	yukosakd@kyukyo-u.ac.jp	水曜日 11:30 ~13:00
金子 研太 経済学部	S357	093-693- 3009	kaneko@kyukyo-u.ac.jp	木曜日 11:30 ~13:00
木村 栞太 経済学部	S358	093-693- 3212	k-kimura@kyukyo-u.ac.jp	水曜日 12:30 ~14:00

社会人として求められるメールでの連絡方法とマナーについて

社会人としての礼儀作法を身に付けるためにも教員へのメールの際は、マナーを意識し丁寧に行いましょう。件名が空である、本文に宛名や送り主の所属・名前等が欠けているメールが散見されます。下記のメールの悪い例と良い例を参考にしましょう。

メールの悪い例

差出人	きむ★ (horizontal_bar12love@icloud.com)
宛先	金子 研太 (kaneko@kyukyo-u.ac.jp)
件名	次の月曜の面談について
すみません、部活の関係で行けなくなりました☹ 木村	

上記のどこが悪いかわかりますでしょうか。件名は空欄ではありませんが、「月曜の面談」では何の話が分かりません。教員は、一日に複数の予定があり、誰の連絡か特定できない場合もあります。件名に学籍番号と所属、授業名（授業に関する場合）を入れておくと教員はすぐに用件が分かり優先的に対応することができるでしょう。メールは「お手紙」ですから、本文では、まず宛名から入り、挨拶文の一言でも入れていると心象がよいです。休むことの報告だけでは、受け取った教員がその後の対応を改めて検討する必要があります。例えば授業欠席では「特別欠席のことはわかっているのか」「課題を出す必要はあるのか」といったことを改めて聞かなければなりません。このようなメールは、百人以上の学生と連絡を取る教員の業務をむやみに増大させ、場合によっては他の緊急性の高い学生の迷惑にもなりかねません。そこで、文面を以下のように変更してみます。



メールの良い例

差出人	木村 栞太 (20a0625@edu.cc.kyukyo-u.ac.jp)
宛先	金子 研太 (kaneko@kyukyo-u.ac.jp)
件名	教育実習校訪問の事前面談について (20A0625 木村 栞太)
<p>金子先生</p> <p>経済学部4年の木村 栞太です。来週月曜日にお約束していた事前面談についてですが、所属している〇〇部の関係で濃厚接触者となり、2週間の自宅待機が必要となりました。すでにキャリア支援課には連絡しています。実習日程に差し支えない日程で事前面談をさせていただくとすれば、〇日～〇日の間となります。〇日の月曜日のご都合はいかがでしょうか。ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	

いかがでしたか。社会人として、相手への連絡は一手二手先のことを考えたうえで行いましょう。なお、教員との対面での相談を希望する場合は、オフィスアワーの時間に研究室を訪れるか、予めメールでアポイントメント（面会の約束）を取ることを心がけましょう。

北九州市教育実習実施要項

「幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭」

北九州市教育委員会

北九州市立学校で教育実習を希望の方は、次のことにご留意願います。

1. 実習について

- ・教育実習を希望する学生は、原則北九州市立小中学校の卒業生であるものとします。
- ・教育実習の承諾は、将来、北九州市立学校への勤務を強く希望する学生に与えるものとします。
- ・教育実習については、北九州教育委員会、実習校の校長の指示に従うものとします。

2. 手続きについて

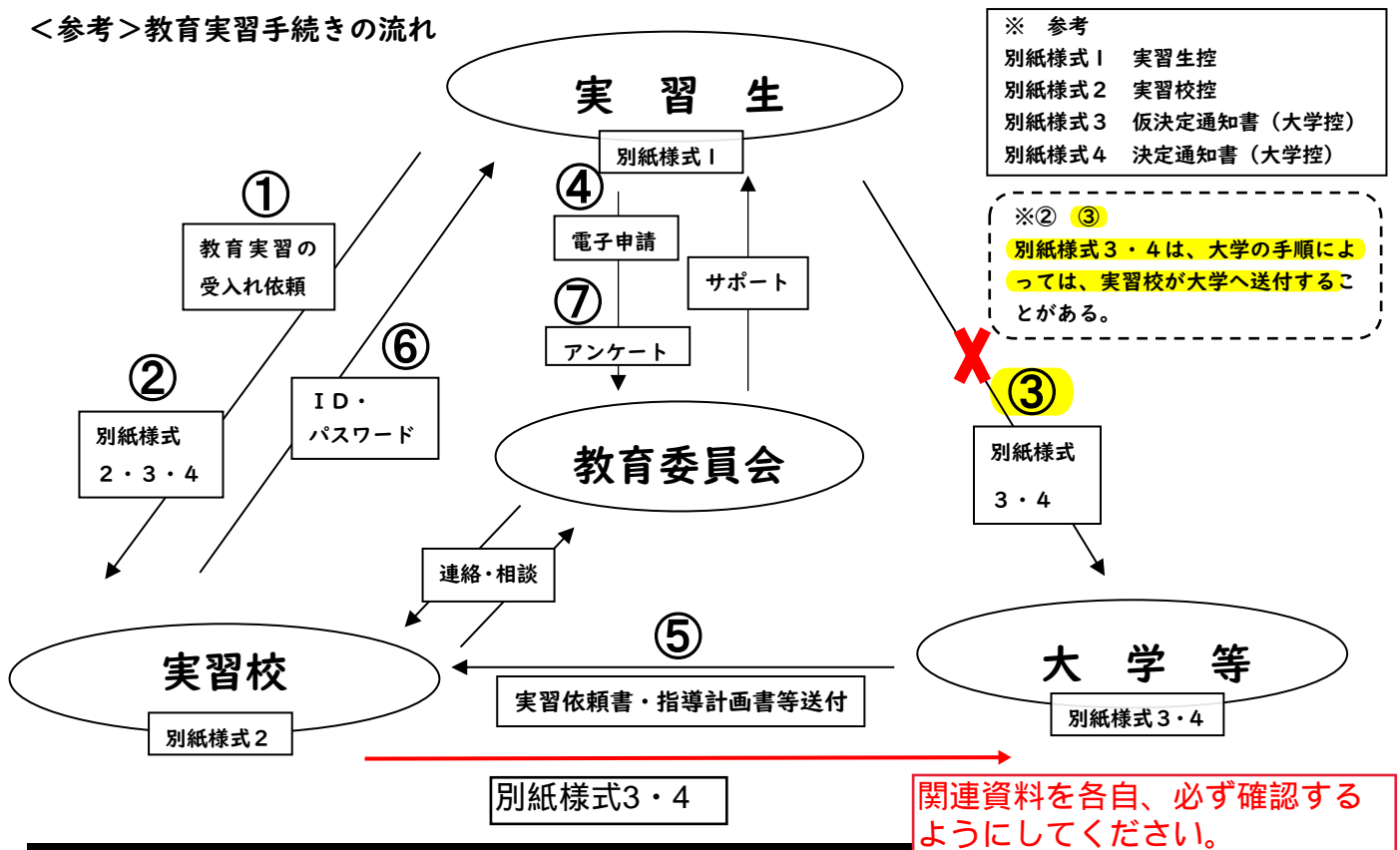
- ① 実習生は、実習前年度の5月から1月末日までに、実習希望校（出身校など）に教育実習の受入れについて相談します。その際、実習希望日や実習教科などを伝えてください。
- ② 実習校が受入れ可能であれば、以下のものを実習希望校に送付または持参してください。

・別紙様式2・3・4

・返信用封筒2枚「郵便番号、宛先を記載したもの、切手（84円）を貼付」

- ③ 実習生は、実習校に 仮決定通知書（別紙様式3）、決定通知書（別紙様式4）を大学へ送付していただくようお願いしてください。
- ④ 実習生は、電子申請システムにて、教育委員会に教育実習の申請を行います。
- ⑤ 大学等は、実習依頼書、指導計画書など、必要な書類を実習校へ送付してください。（各大学の手続き方法によります。実習生が、事前打合せの際に持参してもよいです。）
- ⑥ 実習生は、教育実習開始の約1か月前までに、必ず実習校と連絡を取り、打合せ訪問日を決定し、事前指導を受けてください。打合せの際、実習校より、実習前や実習期間中に使用できる「kitaQ せんせいチャンネル」のID・パスワードが付与されます。ぜひ活用ください。
- ⑦ 教育実習終了後2週間前までに、電子申請システムにて、教育委員会に教育実習のアンケートを提出します。

<参考>教育実習手続きの流れ



※ 参考
別紙様式1 実習生控
別紙様式2 実習校控
別紙様式3 仮決定通知書(大学控)
別紙様式4 決定通知書(大学控)

※② ③
別紙様式3・4は、大学の手順によっては、実習校が大学へ送付することがある。

関連資料を各自、必ず確認するようにしてください。

○ 申込みに必要な書類〈別紙様式1～4〉は、本市教育委員会のホームページからダウンロードできます。(「北九州市教育委員会 教育実習」で検索)。

※ 郵送での申込書の受け取りを希望される場合は、返信用封筒(定型角形2号の封筒に140円分切手を貼ったもの)を同封し、下記担当へ請求してください。(教育実習申請書類希望と朱書き)

○ 上記申請方法について、該当しない等個別の相談については、下記担当へご連絡ください。

〒 803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号
電話番号 093-582-2368
北九州市教育委員会指導第一課 教育実習担当

■ 事前打合せについて

実習生は、教育実習開始の約1か月前までに必ず実習校と連絡を取り合い、打合せ訪問日を決定し、事前指導を受けてください。なお、打合せ訪問日の2週間前までに「北九州市教育実習連絡カード」を実習校に送付してください。

大学等はそれまでに下記の書類を、実習校の校長(園長)宛に提出するか、もしくは実習生に持参させてください。

打合せの際、実習校より、実習前や実習期間中に使用できる「kitaQせんせいチャンネル」のID・パスワードが付与されます。ぜひご活用ください。

[事前打合せ持参書類] (※書式は問いません)

- 実習依頼書
- 教育実習希望申込書 (別紙様式Ⅰ)
- 指導計画書
 - ・ 実習生氏名、専攻科目、実習日程、実習教科 (中学校のみ)
 - ・ 評価事項とその基準 (大学の評価票を使用する場合のみ)
 - ・ 台風などで休校になった場合の実習生への対応
 - ※ 出校し、指導を受けることを希望。
 - 欠席し、実習を延長することを希望。等
 - ・ その他、事前に情報共有しておく必要があること等

■ 確認事項について

<教育実習に係る経費について>

本市では教育実習生の指導に係る経費 (謝金等) は受け取っておりません。給食費、校外活動の交通費等は実費をいただきます。

(提出先：教務課 4月8日(木) 17:00)
(様式1)

教職課程履修継続願 (3年生用)

九州共立大学長 殿

ふりがな

学部 _____ 学科 学籍番号 (_____) 氏名 _____ 男・女
署名 (自署) _____
携帯番号 _____

私は、2年次まで教職課程を履修しており、3年次以降も継続して履修したいので下記のとおりお届けいたします。なお、教職課程履修費は期限までに納付いたします。

中学校一種免許状又は中・高両方の免許状 31,500円

高等学校一種免許状のみ 12,000円

※6月上旬に保護者様宛に納付書を発送します。なお、一度振り込まれた履修費は返還できません。

記

1. 取得希望教職免許状 (教科に○をつける。)

	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状		
経済	社会	地理歴史	公民	商業
スポーツ	保健体育	保健体育		

2. 本籍地 (都道府県のみ) 及び課外活動

_____ 都・道・府・県

※不明な場合は、戸籍抄本等で確認してください。

3. 課外活動

(_____) 部 サークル

(提出先：教務課 4月8日(木) 17:00)

(様式1)

記入例

教職課程履修継続願 (3年生用) (提出先：教務課 4月8日(木) 17:00)

必ず、本人が記入すること

九州共立大学長 殿

ふりがな
 経済 学部 経済・経営 学科 学籍番号 (〇〇A〇〇〇〇) 氏名 きゅうきょう たろう 九共太郎 男・女
 署名 (自署)
 携帯番号 090-〇〇〇〇-××××

私は、2年次まで教職課程を履修しており、3年次以降も継続して履修したいので下記のとおりお届けいたします。なお、教職課程履修費は期限までに納付いたします。

中学校一種免許状又は中・高両方の免許状 31,500円

高等学校一種免許状のみ 12,000円

※6月上旬に保護者様宛に納付書を発送します。なお、一度振り込まれた履修費は返還できません。

記

1. 取得希望教職免許状 (教科に○をつける。)

	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状		
経済	<input checked="" type="radio"/> 社会	<input checked="" type="radio"/> 地理歴史	公民	商業
スポーツ	保健体育	保健体育		

2. 本籍地 (都道府県のみ)

福岡 都・道・府・ 県

※不明な場合は、戸籍抄本等で確認してください。

【重要!!】

本籍地は住所地ではありません。必ず保護者に確認すること。誤った本籍地を記入すると、4年次に教員免許状を申請する際に、別途、戸籍抄本の提出が必要となります。

3. 課外活動

課外活動を行っている場合は、記入してください。

() 部 サークル

九州共立大学 セルフ健康チェック表 (3年生用)

学部		学籍番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

	日付	曜日	熱	体調 (該当箇所に○印)	症状 (該当箇所に○印、複数可)	特記する行動記録 (密閉空間・密集環境・近距離の会話など 気になることがあったら記入する)
例	5/25	月	37.2 °C	良好・ <u>やや不良</u> ・不良	咳・ <u>のどの痛み</u> ・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・ <u>味がない</u>	スーパーで買い物 (30分程度)
1			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
2			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
3			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
4			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
5			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
6			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
7			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
8			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
9			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
10			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
11			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
12			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
13			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
14			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
15			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	
16			°C	良好・やや不良・不良	咳・のどの痛み・だるさ・鼻水・息苦しさ・匂わない・味がない	

※ 毎朝、必ず上記の健康チェックを行い、体調不良等症状がある場合は、キャリア支援課に連絡の上、滞り場所 (自宅・帰省先等) で療養すること。